

**IBM DB2 Information Integrator
OmniFind Edition**



**エンタープライズ・サーチ
インストール・ガイド**

バージョン 8.2.2

**IBM DB2 Information Integrator
OmniFind Edition**



**エンタープライズ・サーチ
インストール・ガイド**

バージョン 8.2.2

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、特記事項に記載されている情報をお読みください。

本書には、IBM の専有情報が含まれています。その情報は、使用許諾条件に基づき提供され、著作権により保護されています。本書に記載される情報には、いかなる製品の保証も含まれていません。また、本書で提供されるいかなる記述も、製品保証として解釈すべきではありません。

IBM の資料は、オンラインまたは最寄りの事業所の IBM 担当員を通じて注文できます。

- オンラインで資料を注文する場合は、IBM Publications Center (www.ibm.com/shop/publications/order) にアクセスしてください。
- 最寄りの IBM 担当員をお探しになる場合は、IBM Directory of Worldwide Contacts (www.ibm.com/planetwide) にアクセスしてください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： GC18-9282-01
IBM DB2 Information Integrator
OmniFind Edition
Installation Guide for Enterprise Search
Version 8.2.2

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.7

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2004, 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

「エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド」について

本書は、DB2[®] Information Integrator OmniFind[™] Edition (エンタープライズ・サーチ) インストール時にご利用ください。

DB2 Information Integrator OmniFind Edition を使用することによって、お客様は自社のデータ全般の検索を利用者に提供できるようになります。このテクノロジーは、エンタープライズ・サーチと呼ばれます。エンタープライズ・サーチ・コンポーネントは、IBM DB2 Information Integrator OmniFind Edition をインストールする際に、インストールされます。CD ラベルや特定の製品コンポーネントに言及する場合を除き、DB2 Information Integrator OmniFind Edition の資料内では『DB2 II OmniFind Edition』の代わりに『エンタープライズ・サーチ』という用語が使用されています。

本書には、DB2 Universal Database[™] 製品、WebSphere[®] Application Server Network Deployment 製品、またはフィックスパックのインストール方法に関する固有の情報は記載されていません。各製品のインストール情報については、その製品の資料を参照してください。

本書の対象読者

エンタープライズ・サーチ・コンポーネントを 1 つ以上のサーバーにインストールする場合は、本書をお読みください。本書の読者には、ご使用のオペレーティング・システムを構成する方法に関する知識があり、システム管理者の権限および特権があることが必要です。DB2 Universal Database および WebSphere Application Server をインストールする前に、それぞれの製品の資料を必ずお読みください。これらの製品は、エンタープライズ・サーチの前提条件となる製品です。

目次

「エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド」について iii

第 1 章 必要なソフトウェアとサポートされるデータ・ソース 1

DB2 II OmniFind Edition のハードウェア要件とディスク・スペース所要量 5

第 2 章 DB2 II OmniFind Edition フィックスパックのインストール 7

インストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリー 8

エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード 8

DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を AIX 5.3 にインストールする 9

DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を SuSE Linux 9 にインストールする 10

第 3 章 ファースト・ステップを開始する 13

第 4 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する 15

第 5 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する 17

第 6 章 インフォメーション・センターを開始する 19

第 7 章 エンタープライズ・サーチの資料 21

第 8 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする 23

第 9 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする 25

第 10 章 インストール情報フォーム . . . 27

DB2 Information Integrator の資料 . . . 29

z/OS 上の DB2 Universal Database のイベント・パブリッシング機能に関する資料 29

z/OS 上の IMS および VSAM のイベント・パブリッシング機能に関する資料 30

Linux、UNIX、および Windows におけるイベント・パブリッシングおよびレプリケーション機能に関する資料 30

Linux、UNIX、および Windows におけるフェデレーテッド機能に関する資料 31

z/OS におけるフェデレーテッド機能に関する資料 33

z/OS におけるレプリケーション機能に関する資料 34

Linux、UNIX、および Windows におけるエンタープライズ・サーチ機能に関する資料 34

リリース情報およびインストール要件 35

リリース情報およびインストール要件の表示 36

PDF 文書の表示および印刷 36

DB2 Information Integrator の資料へのアクセス . . . 37

アクセス支援 39

キーボードによる入力およびナビゲーション 39

キーボード・フォーカス 39

キーボード入力 39

キーボード・ナビゲーション 39

アクセスしやすい表示 40

フォントの設定 40

色に依存しない 40

支援テクノロジーとの互換性 40

アクセスしやすい資料 40

IBM と連絡を取る 41

製品情報 41

特記事項 43

商標 45

索引 47

第 1 章 必要なソフトウェアとサポートされるデータ・ソース

DB2 Information Integrator OmniFind Edition (DB2 II OmniFind Edition) をインストールする前に、必要なソフトウェアとサポートされるオペレーティング・システムがあるかどうかを確認してください。

サポートされるオペレーティング・システム

DB2 Information Integrator OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) は、以下のオペレーティング・システム上でサポートされます。

- AIX[®] 5L
 - 5.2 (Maintenance Level 4 および August 2004 C++ Runtime for AIX PTF が必要)
 - 5.3 (Maintenance Level 1 および August 2004 C++ Runtime for AIX PTF が必要)
- Linux[™]
 - Red Hat Enterprise Linux Advanced Server バージョン 3.0 Update 2 kernel 2.4.21-9.ELsmp (libstdc++3.2.3-34 が必要)
 - SuSE Linux Enterprise Server 8 with Service Pack 3 (UnitedLinux SP3) (libstdc++3.2.2-38 が必要)
 - SuSE Linux Enterprise Server 9 with Service Pack 1 (UnitedLinux SP1) (libstdc++3.3.3-43.28 が必要)
- Microsoft[®] Windows
 - Microsoft Windows[®] 2000 Advanced Server
 - Microsoft Windows 2003 Enterprise Edition

AIX PTF をダウンロードするには、以下の手順を実行してください。

1. IBM[®] ソフトウェア・サポート・サイトで、August 2004 C++ Runtime for AIX PTF を探します。
2. xlc.rte.60.aug2004.ptf.tar.Z ファイルをダウンロードしてください。Web ページの説明に従って、PTF を解凍、untar し、インストールします。
3. ご使用のバージョンの AIX に該当する保守レベルを適用します。AIX フィックスをダウンロードするには、以下の Web サイトに進んでください。
www.ibm.com/servers/eserver/support/pseries/aixfixes.html Web ページの説明に従って、PTF を解凍、untar し、インストールします。

DB2 II OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) に必要なソフトウェア

エンタープライズ・サーチには、以下のソフトウェアが必要です。

IBM DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2

DB2 UDB Enterprise Server Edition は、収集されたデータのリポジトリとして利用されます。

オプション: IBM DB2 Universal Database Information Center バージョン 8.2

DB2 Information Center は、DB2 II OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ)、DB2 Information Integrator、および DB2 Universal Database についての情報を提供します。このインフォメーション・センターがインストールされていない場合、ヘルプ・トピックをクリックすると、インフォメーション・センターをホストする IBM Web サイトが表示されます。インフォメーション・センターには PDF ファイルはありません。

IBM DB2 Universal Database Run-time Client バージョン 8.2

DB2 Run-time Client は、マルチサーバー上で DB2 II OmniFind Edition をインストールする場合のみ必要です。

IBM WebSphere Application Server 5.1 Fix Pack 1 (バージョン 5.1.1)

このソフトウェアは、Web アプリケーション・サーバーと IBM HTTP サーバーを組み込んでいます。このフィックスパックは、DB2 II OmniFind Edition には組み込まれていません。

IBM WebSphere Application Server Deployment Manager 5.1 Fix Pack 1 (バージョン 5.1.1)

同一システム上で、WebSphere 自身の複数コピーを実行する場合には Deployment Manager が必要です。このフィックスパックは、DB2 II OmniFind Edition には組み込まれていません。

必要な Java レベル

IBM Software Development Kit for Java™ 1.3.x または 1.4.x. (SDK for Java 1.5 はサポートされません)

SDK for Java は、エンタープライズ・サーチのアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を使用して作成される Java 検索アプリケーションをコンパイルするために必要です。これらの SDK for Java には、DB2 II OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) のインストールは必要ありません。エンタープライズ・サーチの ESSearchApplication サンプルとデータ・リスナー・サンプルは、SDK for Java 1.4.x を使用してコンパイルされます。SI-API サンプルは、1.3.x または 1.4.x のいずれかを使用してコンパイルできます。

`ES_INSTALL_ROOT/samples` ディレクトリー内の ESSearchApplication は、IBM SDK for Java バージョン 1.4.x を使用してコンパイルし、JRE バージョン 1.4 環境で実行する必要があります。WebSphere Application Server および WebSphere Portal は、いずれも JRE バージョン 1.4 を提供します。

サポートされるデータ・ソース

エンタープライズ・サーチを使用して、以下のデータ・ソースから検索可能なコレクションを作成することができます。これらのデータ・ソースには、追加のソフトウェアが必要なものもあります。詳しくは、3 ページの『データ・ソースに必要なソフトウェア』を参照してください。

DB2 Content Manager バージョン 8.2 または 8.3

Content Manager クローラーを使用してアクセスされます。

DB2 Universal Database for Linux、UNIX、および Windows バージョン 8.1 および 8.2

DB2 クローラーを使用してアクセスされます。

DB2 Universal Database for z/OS バージョン 7 以降

DB2 クローラーを使用し、DB2 Information Integrator バージョン 8.2 以降を通じてアクセスされます。

Documentum 4.3 または 5.2.5

VeniceBridge クローラー (WebSphere Information Integrator Content Edition バージョン 8.2) を使用してアクセスされます。

FileNet Paragon CS 5.3

VeniceBridge クローラー (WebSphere Information Integrator Content Edition バージョン 8.2) を使用してアクセスされます。

Hummingbird DM 5.1

VeniceBridge クローラー (WebSphere Information Integrator Content Edition バージョン 8.2) を使用してアクセスされます。

Informix IDS バージョン 9 以降

DB2 クローラーを使用し、DB2 Information Integrator バージョン 8.2 以降を通じてアクセスされます。

Lotus Domino バージョン 5.0 以降、バージョン 6.0 以降

Lotus Domino Server 5.0.9a 以降がサポートされます。Notes クローラーを使用してアクセスされます。

Microsoft SQL Server 2000

DB2 クローラーを使用し、DB2 Information Integrator バージョン 8.2 以降を通じてアクセスされます。

Microsoft Exchange Server 2000 または 2003

Exchange Server クローラーを使用してアクセスされます。

Oracle 9i および Oracle 10g

DB2 クローラーを使用し、DB2 Information Integrator バージョン 8.2 以降を通じてアクセスされます。

データ・ソースに必要なソフトウェア

Lotus® Domino® データベースか Notes データベース、DB2 Content Manager データベース、フェデレーテッド・リレーショナル・データベース、または VeniceBridge ソースをクロールするには、以下のバージョンの製品をインストールしてください。

IBM Lotus Domino Server for Linux and AIX バージョン 6.0.2 以降、または Lotus Notes for Windows バージョン 6.0.2 以降

このソフトウェアは、Lotus Notes または Domino のソースからデータを収集する場合に必要です。NRPC の Notes クローラーは、Domino ライブラリーを Lotus Notes クライアントとして使用します。これらのライブラリーのインストールは、エンタープライズ・サーチ・クローラー・サーバー上で Lotus Domino Server をインストールして行います。Notes クローラーが Domino ライブラリーと連動していることを確認するには、Domino ライブラリーのインストール後に DB2 II OmniFind Edition がクローラー・サーバー上で提供するセットアップ・スクリプトを実行してください。

IBM DB2 Information Integrator for Content for Windows and AIX バージョン 8.2 または IBM DB2 Content Manager Toolkit for Linux バージョン 8.2

AIX および Windows 上でのエンタープライズ・サーチの場合、Content Manager クローラーは、Content Manager バージョン 8 の Java™ コネクタを使用して DB2 Content Manager サーバーにアクセスします。このコネクタのインストールは、IBM DB2 Information Integrator for Content for Windows and AIX バージョン 8.2 をクローラー・サーバー上にインストールして行います。Content Manager クローラーが DB2 Content Manager と連動していることを確認するには、コネクタのインストール後に DB2 II OmniFind Edition がクローラー・サーバー上で提供するセットアップ・スクリプトを実行してください。

Linux 上でのエンタープライズ・サーチの場合、Content Manager クローラーは、Content Manager バージョン 8 の Java コネクタを使用して DB2 Content Manager サーバーにアクセスします。このコネクタのインストールは、IBM DB2 Content Manager Linux Toolkit バージョン 8.2 をクローラー・サーバー上にインストールして行います。Content Manager クローラーが DB2 Content Manager と連動していることを確認するには、コネクタのインストール後に DB2 II OmniFind Edition がクローラー・サーバー上で提供するセットアップ・スクリプトを実行してください。

IBM WebSphere Information Integrator Content Edition with hot fixes バージョン 8.2.1

VeniceBridge クローラーは、WebSphere Information Integrator Content Edition の Java ライブラリーを Java クライアントとして使用します。これらのライブラリーのインストールは、クローラー・サーバー上で WebSphere Information Integrator Content Edition をインストールして行います。VeniceBridge クローラーが Java ライブラリーと連動していることを確認するには、WebSphere Information Integrator Content Edition ライブラリーのインストール後に DB2 II OmniFind Edition がクローラー・サーバー上で提供するセットアップ・スクリプトを実行してください。

FileNet CS または Hummingbird データ・ソースを検索する場合は、WebSphere Information Integrator Content Edition のホット・フィックスをそれぞれダウンロードし、インストールする必要があります。FileNet CS の場合、APAR JR21417 をインストールしてください。Hummingbird の場合は、APAR JR21708 をインストールします。ホット・フィックスのインストールについては、WebSphere Information Integrator Content Edition Support Web サイトを参照してください。

VeniceBridge 製品は、WebSphere Information Integrator Content Edition という名前に変更されています。

IBM DB2 Information Integrator バージョン 8.2 以降

DB2 Information Integrator バージョン 8.2 は、DB2 II OmniFind Edition と共に出荷されています。DB2 Information Integrator は、DB2 Universal Database for z/OS、Informix IDS、および Oracle 9i と Oracle 10g からリレーショナル・データベースをクローラーする場合に使用できます。

関連概念

「エンタープライズ・サーチの管理」の『Content Manager クローラー』

「エンタープライズ・サーチの管理」の『Notes クローラー』

「エンタープライズ・サーチの管理」の『VeniceBridge クローラー』

DB2 II OmniFind Edition のハードウェア要件とディスク・スペース所要量

ハードウェア要件とディスク・スペース所要量は、ご使用のオペレーティング・システムと DB2 II OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) の使用目的によって決まります。

ハードウェア要件

ディスク・スペース所要量は、クロールする文書数、およびクロールするデータ・ソースのタイプによって大きく異なります。これらの要件は、定期的に索引を作成すること、つまり索引に新規文書が追加、除去、更新されることを前提としています。マルチサーバー構成の場合、増加していくスペース所要量は索引サーバー上に必要になります。 *ES_NODE_ROOT* ディレクトリーには、ご使用のシステムで最も多くのディスク・スペースが必要です。

最小ハードウェア要件と最低限のディスク・スペース所要量を、シングル・サーバー構成とマルチサーバー構成に分けて説明します。

小規模ソリューション

シングル・サーバー構成

- 2 つ以上のプロセッサ: Intel および AMD の場合 2.0 GHz 以上、RISC の場合 1.5 GHz 以上
- RAM 4 - 6 GB (追加のアクティブ・コレクションごとに、RAM 1 - 2 GB を追加)
- ディスク・スペース 200 GB (全コレクション中の文書数は 1 000 000 文書、平均文書サイズが 20 KB の場合)

中規模ソリューション

4 サーバー構成

- 2 つ以上のプロセッサ: Intel および AMD の場合 2.0 GHz 以上、RISC の場合 1.5 GHz 以上
- 各サーバーに RAM 4 - 6 GB
- ディスク・スペース 2 TB (全コレクション中の文書数は 7 000 000 文書、平均文書サイズが 20 KB の場合)

大規模ソリューション

4 サーバー構成

- 4 つ以上のプロセッサ: Intel および AMD の場合 2.0 GHz 以上、RISC の場合 1.5 GHz 以上
- 各サーバーに RAM 8 GB (Windows の場合、RAM 4 GB)
- ディスク・スペース 6 TB (全コレクション中の文書数は 10 000 000 文書、平均文書サイズが 20 KB の場合)

第 2 章 DB2 II OmniFind Edition フィックスパックのインストール

DB2 II OmniFind Edition フィックスパックは、フィックスパック・リリースに 対応するオペレーティング・システムが追加されていない場合には、累積のフィックスパックです。通常、最新のフィックスパックは、前のフィックスパックをインストールせずに、インストールすることができます。

始める前に

フィックスパックをインストールする前に、ご使用のシステムのバックアップをとっておくことをお勧めします。

このタスクについて

DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 は、アップグレード・インストール専用です。バージョン 8.2.2 をインストールする前に、DB2 II OmniFind Edition の既存のバージョンがインストールされている必要があります。

バージョン 8.2.2 には、バージョン 8.2 またはバージョン 8.2.1 からアップグレードすることができます。ただし、AIX 5.3 および SuSE Linux Enterprise Server 9 の場合は、まず最初にバージョン 8.2.1 (フルインストール) をインストールする必要があります。その後、バージョン 8.2.2 (フィックスパック・インストール) をインストールします。9 ページの『DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を AIX 5.3 にインストールする』および 10 ページの『DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を SuSE Linux 9 にインストールする』を参照してください。SuSE Linux 9 の場合、サイレント・インストールは使用できません。

フィックスパックは、グラフィック・インストール、テキスト・モード・インストール、またはサイレント・インストール (ほとんどの場合はこの方式を使用します) のいずれでもインストールできます。サイレント・インストールを使用する場合は、DB2 II OmniFind Edition イメージのルートにある `fixpack.rsp` ファイルをお読みください。また、`uninstall.rsp` ファイルを使用して、DB2 II OmniFind Edition をサイレント方式でアンインストールすることができます。

バージョン 8.2.1 のインストール方法については、「*DB2 Information Integrator OmniFind Edition エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド V8.2.1*」を参照してください。

手順

Windows の場合は、管理者権限を持っている必要があります。DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 をインストールするには、次のようにします。

1. root ユーザーとしてログインする。
2. インストール・ランチパッドを開始する。
 - AIX の場合は、コマンド・プロンプトで `./install-aix.bin` と入力します。

- Linux の場合は、コマンド・プロンプトで `./install-linux.bin` と入力します。
 - Windows の場合は、`install-win32.exe` ファイルをダブルクリックするか、またはコマンド・プロンプトで `install-win32.exe` と入力します。
3. プロンプトが出されたら、前のインストールと同じ情報を指定する。

バージョン 8.2 またはバージョン 8.2.1 のインストール時に作成したエンタープライズ・サーチ管理者用のユーザー名およびパスワードと同じものを使用してください。「ユーザーの作成」は選択しないでください。

インストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリー

DB2 II OmniFind Edition のインストール時に、インストール・プログラムは、2 つのメイン・ディレクトリー (インストール・ディレクトリーとデータ・ディレクトリー) を作成します。

インストール・ディレクトリー

本書で、`ES_INSTALL_ROOT` はインストール・ディレクトリーを表します。インストール・ディレクトリーには、システムの稼働中に変更されない実行可能ファイルおよびデフォルト・ファイルなどのファイルが含まれています。デフォルトの `ES_INSTALL_ROOT` ディレクトリーを変更することはできませんが、マルチサーバー・インストールの場合は、すべてのサーバーに同じインストール・ディレクトリー・パス (`ES_INSTALL_ROOT`) を使用してください。

データ・ディレクトリー

本書で、`ES_NODE_ROOT` は、サーバー上のデータ・ディレクトリーを表します。データ・ディレクトリーには、システムが定期的に更新する構成ファイルおよびデータ・ファイルが含まれています。ご使用のシステム上で最大のファイル区画またはディスク・スペースを、データ (`ES_NODE_ROOT`) ディレクトリー専用に使ってください。

表スペース・ディレクトリー

デフォルトで、クローラー・サーバー上のデータ・ディレクトリーに、表スペース・ディレクトリーがインストールされます。インストール時に、表スペースに別のロケーションを指定することができます。このディレクトリーは、大容量ディスク・スペースにアクセスする必要があります。

エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワード

エンタープライズ・サーチのユーザー ID とパスワードは、オペレーティング・システム上で有効なものでなければなりません。また、DB2 Universal Database にアクセスして構成する権限が必要です。

DB2 II OmniFind Edition のインストール時に、既存のエンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワードを入力するか、またはインストール・プログラムで作成することができます。既存のユーザー ID とパスワードを使用する場合は、エンタープライズ・サーチ管理者が適切にシステムを実行できるように、インストール・プログラムが権限と特権を変更します。

エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID とパスワードは、マルチサーバー・インストール環境では、各サーバー上で同一でなければなりません。

DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を AIX 5.3 にインストールする

AIX 5.3 は、DB2 II OmniFind バージョン 8.2.2 (フィックスパック 2) でサポートされるオペレーティング・システム・リストに追加されたため、まず最初にバージョン 8.2.1 (フルインストール) をインストールする必要があります。その後、アップグレード・バージョン (8.2.2) をインストールしてください。

前提ソフトウェアは、DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.1 インストール・プログラムを使用してインストールすることも、手動でインストールすることもできます。インストール・プログラムを使用してインストールする場合は、DB2 II OmniFind Edition のインストール時に、CD またはインストール・イメージを使用できるようにしておく必要があります。

手順

DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を AIX 5.3 にインストールするには、次のようにします。

1. AIX でユーザー名およびパスワードを作成する。このユーザー名およびパスワードは、DB2 II OmniFind Edition のインストール時に、エンタープライズ・サーチ管理者用に使用されます。このユーザーは、DB2 グループ db2grp1 のメンバーでなければなりません。
2. DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.1 (完全プロダクト) と、前提ソフトウェアがまだインストールされていない場合には、前提ソフトウェアをインストールする。インストール・ランチパッドを開始するには、`./install-aix.bin` と入力します。

オペレーティング・システムで DB2 II OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) ユーザー用に作成したユーザー名およびパスワードと同じものを使用してください。ユーザー名およびパスワードはすでにシステムに存在するので、「**ユーザーの作成**」は選択しないでください。

インストール手順について、詳しくは、「*DB2 Information Integrator OmniFind Edition エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド V8.2.1*」を参照してください。

3. バージョン 8.2.1 をインストールした後、DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 (フィックスパック) をインストールする。7 ページの『第 2 章 DB2 II OmniFind Edition フィックスパックのインストール』を参照してください。

DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 を SuSE Linux 9 にインストールする

SuSE Linux Enterprise Server 9 は、DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.2 (フィックスパック 2) でサポートされるオペレーティング・システム・リストに追加されたため、まず最初にバージョン 8.2.1 (フルインストール) をインストールする必要があります。その後、アップグレード・バージョン (8.2.2) をインストールしてください。

前提ソフトウェアがまだインストールされていない場合は、以下の前提ソフトウェアをインストールする必要があります。DB2 II OmniFind Edition が、ユーザーに代わって前提ソフトウェアをインストールすることはできません。

- DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2
- WebSphere Application Server バージョン 5.1 およびフィックスパック 1
- WebSphere Application Server Deployment Manager (Network Deployment) バージョン 5.1 およびフィックスパック 1

手順

シングル・サーバー・インストールの場合は、以下のソフトウェアを 1 つのサーバーにインストールします。前提ソフトウェアおよび DB2 II OmniFind Edition バージョン 8.2.1 を 4 つのサーバーにインストールし、構成するには、次のステップに従ってください。両方の検索サーバーを同じようにインストールおよび構成する必要があります。

1. クローラー・サーバーに DB2 Universal Database Enterprise Server Edition バージョン 8.2 をインストールする。インストール手順については、DB2 インフォメーション・センターを参照してください。デフォルトの DB2 インスタンス作成のインストール・オプションを使用してください (dasusr1、db2inst1、db2fenc1)。
2. オプション: 両方の検索サーバーに DB2 Information Integrator Information Center バージョン 8.2 をインストールする。デフォルト設定を使用してください。インストール手順については、Web 上の DB2 インフォメーション・センター (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/db2help/index.jsp>) を参照してください。
3. 両方の検索サーバーに WebSphere Application Server バージョン 5.1 をインストールする。手順については、WebSphere Application Server インフォメーション・センターを参照してください。
4. 両方の検索サーバーに WebSphere Application Server Deployment Manager バージョン 5.1 (Network Deployment) をインストールする。手順については、WebSphere Application Server インフォメーション・センターを参照してください。WebSphere Application Server Deployment Manager のインストールは、両方の検索サーバーでフェデレート (連合) されなければなりません。フェデレートするには、次のようにします。
 - a. 以下のコマンドを実行する。

```
/opt/WebSphere/DeploymentManager/bin/startManager.sh
```

```
/opt/WebSphere/AppServer/bin/addNode.sh localhost 8879 -includeapps
```

第 3 章 ファースト・ステップを開始する

DB2 II OmniFind Edition をインストールした後で、ファースト・ステップ・プログラムを使用して、インストールの検証、文書のオープン、またはシステムの始動を行うことができます。ファースト・ステップは、インストール・プログラムの最後のウィンドウでチェック・ボックスを選択するか、または手動で開始することができます。

手順

Linux または AIX 上でファースト・ステップを手動で開始するには、エンタープライズ・サーチ管理者としてログオンし、次のように入力してください。

```
export DISPLAY=display_server_host_name:0.0
```

```
firststep.sh
```

Windows 上でファースト・ステップを手動で開始するには、「スタート」メニューから「ファースト・ステップ」ショートカットをクリックするか、または *ES_INSTALL_ROOT* ディレクトリー内の実行可能ファイル「firststeps.bat」をダブルクリックしてください。

関連タスク

15 ページの『第 4 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する』

Linux および AIX に DB2 II OmniFind Edition をインストールした後、インストール・プログラムは、ユーザーに代わって前提ソフトウェアを開始します。ただし、これらのソフトウェア・コンポーネントが開始されない場合は、手動で開始することができます。

17 ページの『第 5 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する』
Windows に DB2 II OmniFind Edition をインストールした後、インストール・プログラムは、ユーザーに代わって前提ソフトウェアを開始するか、またはソフトウェア・コンポーネントをバックグラウンド・サービスとして開始します。ただし、これらのコンポーネントが開始されない (またはサービスが実行されていない) 場合は、手動で開始することができます。

23 ページの『第 8 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする』

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションおよび DB2 表を含む DB2 II OmniFind Edition コンポーネントを除去します。

25 ページの『第 9 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする』

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションおよび DB2 表を含む DB2 II OmniFind Edition コンポーネントを除去します。

第 4 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する

Linux および AIX に DB2 II OmniFind Edition をインストールした後、インストール・プログラムは、ユーザーに代わって前提ソフトウェアを開始します。ただし、これらのソフトウェア・コンポーネントが開始されない場合は、手動で開始することができます。

エンタープライズ・サーチを開始する前に、DB2 Universal Database、HTTP Server、Deployment Manager、および WebSphere Application Server が稼働中であることを確認してください。前提ソフトウェアまたは DB2 II OmniFind Edition が稼働していない場合は、次のステップに従ってください。

1. クローラー・サーバーで、DB2 Universal Database を開始する。
 - a. root ユーザーとしてログインする。
 - b. db2start と入力する。
2. 両方の検索サーバーで、IBM HTTP Server を開始する。
 - a. root ユーザーとしてログインする。
 - b. ディレクトリーを /opt/IBMHttpServer/bin/ に変更する。
 - c. ./apachectl start と入力する。
3. 両方の検索サーバーで、Deployment Manager を開始する。
 - a. root ユーザーとしてログインする。
 - b. ディレクトリーを /usr/WebSphere/DeploymentManager/bin に変更する。
 - c. ./startManager.sh と入力する。
4. 両方の検索サーバーで、WebSphere Application Server を開始する。
 - a. root ユーザーとしてログインする。
 - b. ディレクトリーを /opt/WebSphere/AppServer/bin に変更する。
 - c. 以下を入力する。

```
./startNode.sh
./startServer.sh server1
```
5. 索引サーバーで、DB2 UDB Run-time Client を開始する。db2start と入力します。
6. エンタープライズ・サーチ・アプリケーションを開始する。./startServer.sh ESSearchServer と入力します。
7. 索引サーバーで、エンタープライズ・サーチ管理者としてログインし、コマンド esadmin start を入力してエンタープライズ・サーチを開始する。
8. ブラウザーを開き、URL `http://hostname/ESAdmin` を入力して、エンタープライズ・サーチ管理コンソールを開始する。ここで、*hostname* は検索サーバーのいずれかのホスト名です。
9. エンタープライズ・サーチ管理ユーザーとして、エンタープライズ・サーチ管理コンソールにログインする。

これでエンタープライズ・サーチ管理コンソールを使用できるようになりました。管理コンソールの使用についての詳細は、オンライン・ヘルプを参照してください。コレクションの作成と保守についての一般情報は、「エンタープライズ・サーチの管理」を参照してください。この資料を表示するには、インフォメーション・センターを開始するか、またはディレクトリー `ES_INSTALL_ROOT/docs/en_US/pdf` を表示して、ファイル `iiysa.pdf` を開きます。

関連タスク

13 ページの『第 3 章 ファースト・ステップを開始する』

DB2 II OmniFind Edition をインストールした後で、ファースト・ステップ・プログラムを使用して、インストールの検証、文書のオープン、またはシステムの始動を行うことができます。ファースト・ステップは、インストール・プログラムの最後のウィンドウでチェック・ボックスを選択するか、または手動で開始することができます。

17 ページの『第 5 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する』

Windows に DB2 II OmniFind Edition をインストールした後、インストール・プログラムは、ユーザーに代わって前提ソフトウェアを開始するか、またはソフトウェア・コンポーネント をバックグラウンド・サービスとして開始します。ただし、これらのコンポーネントが開始されない (またはサービスが実行されていない) 場合は、手動で開始することができます。

第 5 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する

Windows に DB2 II OmniFind Edition をインストールした後、インストール・プログラムは、ユーザーに代わって前提ソフトウェアを開始するか、またはソフトウェア・コンポーネント をバックグラウンド・サービスとして開始します。ただし、これらのコンポーネントが開始されない (またはサービスが実行されていない) 場合は、手動で開始することができます。

エンタープライズ・サーチ管理コンソールを使用してコレクションを作成する前に、いくつかのプロセスがバックグラウンド・サービスとしてまだ稼働していない場合、またはファースト・ステップ・プログラムでいくつかのプロセスを開始していない場合は、それらのプロセスを開始する必要があります。必要なプロセスが稼働中でない場合は、「スタート」メニューから、またはコマンド行から開始することができます。エンタープライズ・サーチを開始する前に、DB2 Universal Database、HTTP Server、Deployment Manager、および WebSphere Application Server が稼働中であることを確認してください。前提ソフトウェアまたは DB2 II OmniFind Edition が稼働していない場合は、次のステップに従ってください。これらのコンポーネントを開始するには、管理者権限が必要です。

1. IBM HTTP Server がまだ稼働していない場合は、開始する。
 - 「スタート」メニューで、「プログラム」 → 「IBM HTTP Server」 → 「HTTP Server の開始」をクリックする。
 - コマンド行で、Program Files/IBMHttpServer/bin/ ディレクトリーに変更し、apache.exe と入力する。
2. Deployment Manager がまだ稼働していない場合は、開始する。
 - 「スタート」メニューで、「プログラム」 → 「IBM WebSphere」 → 「Network Deployment」 → 「Deployment Manager」をクリックする。
 - コマンド行で、WebSphere/DeploymentManager/bin ディレクトリーに変更する。startManager と入力する
3. WebSphere Application Server がまだ稼働していない場合は、開始する。
 - 「スタート」メニューで、「プログラム」 → 「IBM WebSphere」 → 「サーバーの始動」をクリックする。
 - コマンド行で、WebSphere/AppServer/bin ディレクトリーに変更し、startNode と入力して、startServer server1 と入力する。
4. エンタープライズ・サーチ・アプリケーションがまだ稼働していない場合は、開始する。
 - WebSphere コンソールで、「サーバー」 → 「アプリケーション・サーバー」をクリックし、ESSearchServer を選択して「始動」をクリックする。
 - コマンド行で、startServer ESSearchServer と入力する。
5. 索引サーバーにエンタープライズ・サーチ管理者としてログインし、コマンド esadmin start を入力してエンタープライズ・サーチを開始する。

6. ブラウザーを開き、URL `http://hostname/ESAdmin` を入力して、エンタープライズ・サーチ管理コンソールを開始する。ここで、*hostname* は検索サーバーのいずれかのホスト名です。
7. エンタープライズ・サーチ管理ユーザーとして、エンタープライズ・サーチ管理コンソールにログインする。

関連タスク

13 ページの『第 3 章 ファースト・ステップを開始する』

DB2 II OmniFind Edition をインストールした後で、ファースト・ステップ・プログラムを使用して、インストールの検証、文書のオープン、またはシステムの始動を行うことができます。ファースト・ステップは、インストール・プログラムの最後のウィンドウでチェック・ボックスを選択するか、または手動で開始することができます。

15 ページの『第 4 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition を開始する』

Linux および AIX に DB2 II OmniFind Edition をインストールした後、インストール・プログラムは、ユーザーに代わって前提ソフトウェアを開始します。ただし、これらのソフトウェア・コンポーネントが開始されない場合は、手動で開始することができます。

第 6 章 インフォメーション・センターを開始する

DB2 Information Integrator インフォメーション・センターには、エンタープライズ・サーチ (DB2 II OmniFind Edition) に関するすべての資料が含まれています。

エンタープライズ・サーチ管理コンソールで「ヘルプ」ボタンをクリックすると、インフォメーション・センターが開始します。「ヘルプ」ボタンをクリックせずにインフォメーション・センターを開始する方法は、以下の手順を参照してください。インフォメーション・センターの開始、停止、またはカスタマイズについての詳細は、インフォメーション・センターの構成の資料にあるトピック『DB2 インフォメーション・センターの起動』を参照してください。

手順

エンタープライズ・サーチをインストールした後で、インフォメーション・センターのデーモンまたはサービスを停止して、再始動する必要があります。次に、インフォメーション・センターを開始して、資料を表示します。

デーモンまたはサービスを停止して再始動し、DB2 インフォメーション・センターを開始するには、以下の手順を実行してください。

Linux および AIX

デーモンを再始動します。db2icd restart と入力します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。db2icdocs と入力します。

Windows

「Windows サービス」ウィンドウ内の「DB2 Information Center Server」サービスを停止して、再始動します。次に、DB2 インフォメーション・センターを開始します。デスクトップから、「スタート」→「プログラム」→「IBM DB2 インフォメーション・センター」→「インフォメーション・センター」をクリックします。

第 7 章 エンタープライズ・サーチの資料

DB2 Information Integrator OmniFind Edition (エンタープライズ・サーチ) の資料は、PDF または HTML の形式で読むことができます。HTML のトピックを表示するには、DB2 インフォメーション・センターを開始してください。

DB2 インフォメーション・センターをインストールしてから、次に、エンタープライズ・サーチ・コンポーネントをインストールする必要があります。エンタープライズ・サーチのインストール後に、インフォメーション・センターを開始するには、19 ページの『第 6 章 インフォメーション・センターを開始する』を参照してください。PDF の資料は、docs/locale/pdf にあります。たとえば、英語版の資料を検索する場合は、docs/en_US/pdf にあります。

以下の資料のファイルを表示することができます。

| 資料 | ファイル名 | 場所 |
|--|----------------------------|--|
| エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません) | iiysi.pdf | docs/locale/pdf |
| エンタープライズ・サーチの管理 (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません。) | iiysa.pdf | docs/locale/pdf |
| エンタープライズ・サーチ プログラミング・ガイドおよび API リファレンス (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません。) | iiysp.pdf | docs/locale/pdf |
| DB2 Information Integrator OmniFind Edition インストール要件 (この資料のトピックは、インフォメーション・センターにもありません。) | iiysr.txt または iiysr.htm | CD のルート・ディレクトリー (このファイルは、ファースト・ステップ・プログラムからも起動できます) |
| DB2 Information Integrator OmniFind Edition リリース・ノート | iiysr.pdf または iiysr.htm | CD のルート・ディレクトリー または IBM Support Web サイト |

第 8 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションおよび DB2 表を含む DB2 II OmniFind Edition コンポーネントを除去します。

DB2 II OmniFind Edition は、グラフィック・モード (最も一般的です)、テキスト・モード、またはサイレント・モードでアンインストールすることができます。サイレント・アンインストールの場合は、応答ファイルを使用する必要があります。各オペレーティング・システムごとに異なる応答ファイルの概要については、omnifind.rsp ファイルを参照してください。DB2 II OmniFind Edition のサイレント・アンインストールを行うには、uninstall.rsp ファイルを使用します。

サイレント・アンインストールを開始するには、各サーバーで以下のコマンドを入力します。

```
-silent -options response_file_name
```

手順

各サーバーでアンインストール・プログラムを実行します。グラフィック・アンインストール・プログラムを使用して DB2 II OmniFind Edition をアンインストールするには、次のようにします。

1. root ユーザーとしてログインする。
2. インストール・ディレクトリー (*ES_INSTALL_ROOT*) 内で、ディレクトリーを *_uninst* ディレクトリーに変更する。
3. *./uninstall.bin* と入力して、アンインストール・プログラムを開始する。
4. アンインストール・プログラムを開始したら、「次へ」をクリックして、DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする。
5. オプション: エンタープライズ・サーチ・データを除去する場合は、「すべてのデータおよび構成ファイルを除去」オプションを選択する。このオプションを選択すると、DB2 II OmniFind Edition のすべてのデータ、システム構成ファイル、およびエンタープライズ・サーチ・データベースがクローラー・サーバーから除去されます。
6. オプション: エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID を削除する。
7. オプション: インフォメーション・センターからエンタープライズ・サーチ情報を除去する。フォルダー *com.ibm.db2.ii.of.doc* および *com.ibm.db2.ii.of.nl1* (翻訳済み言語ファイル) を除去することができます。これらのフォルダーを除去すると、まだ残っているインフォメーション・センターのトピックがリンク切れを起こす原因になる場合があります。これらのフォルダーは、2 つの検索サーバー上の以下のデフォルト・ディレクトリー内にあります。

Linux: */opt/IBM/db2/V8.1/doc/eclipse/plugins*

AIX: */usr/opt/db2_08_01/doc/eclipse/plugins*

関連タスク

13 ページの『第 3 章 ファースト・ステップを開始する』

DB2 II OmniFind Edition をインストールした後で、ファースト・ステップ・プログラムを使用して、インストールの検証、文書のオープン、またはシステムの始動を行うことができます。ファースト・ステップは、インストール・プログラムの最後のウィンドウでチェック・ボックスを選択するか、または手動で開始することができます。

25 ページの『第 9 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする』

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションおよび DB2 表を含む DB2 II OmniFind Edition コンポーネントを除去します。

第 9 章 Windows 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションおよび DB2 表を含む DB2 II OmniFind Edition コンポーネントを除去します。

Windows 上の DB2 II OmniFind Edition は、「プログラムの追加と削除」機能または DB2 II OmniFind Edition アンインストール・プログラムを使用してアンインストールできます。

DB2 II OmniFind Edition は、グラフィック・モード (最も一般的です)、テキスト・モード、またはサイレント・モードでアンインストールすることができます。サイレント・アンインストールの場合は、応答ファイルを使用する必要があります。各オペレーティング・システムごとに異なる応答ファイルの概要については、omnifind.rsp ファイルを参照してください。DB2 II OmniFind Edition のサイレント・アンインストールを行うには、uninstall.rsp ファイルを使用します。

サイレント・アンインストールを開始するには、各サーバーで以下のコマンドを入力します。

```
-silent -options response_file_name
```

手順

グラフィック・アンインストール・プログラムを使用して DB2 II OmniFind Edition をアンインストールするには、次のようにします。

1. インストール・ディレクトリー (*ES_INSTALL_ROOT*) 内の *_uninst* ディレクトリーを表示するか、またはこのディレクトリーに変更する。
2. アンインストール・プログラムを開始する。 *uninstall.exe* ファイルをダブルクリックするか、またはコマンド行で *uninstall.exe* と入力します。
3. アンインストール・プログラムを開始したら、「次へ」をクリックして、DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする。
4. オプション: エンタープライズ・サーチ・データを除去する場合は、「すべてのデータおよび構成ファイルを除去」オプションを選択する。このオプションを選択すると、DB2 II OmniFind Edition のすべてのデータ、システム構成ファイル、およびエンタープライズ・サーチ・データベースがクローラー・サーバーから除去されます。
5. オプション: DB2 インフォメーション・センターからエンタープライズ・サーチの資料を除去する。これらのフォルダーを除去すると、まだ残っているインフォメーション・センターのトピックがリンク切れを起こす原因になります。そのため、インフォメーション・センターが正しく機能しないことがあります。フォルダー *com.ibm.db2.ii.of.doc* および *com.ibm.db2.ii.of.nl1* (翻訳済み言語ファイル) を除去することができます。これらのフォルダーは、2 つの検索サーバー上の以下のデフォルト・ディレクトリー内にあります。

C:\Program Files\IBM\SQLLIB\doc\eclipse\plugins

関連タスク

13 ページの『第 3 章 ファースト・ステップを開始する』

DB2 II OmniFind Edition をインストールした後で、ファースト・ステップ・プログラムを使用して、インストールの検証、文書のオープン、またはシステムの始動を行うことができます。ファースト・ステップは、インストール・プログラムの最後のウィンドウでチェック・ボックスを選択するか、または手動で開始することができます。

23 ページの『第 8 章 Linux および AIX 上の DB2 II OmniFind Edition をアンインストールする』

アンインストール・プログラムは、WebSphere Application Server の Web アプリケーションおよび DB2 表を含む DB2 II OmniFind Edition コンポーネントを除去します。

第 10 章 インストール情報フォーム

このフォームを使用して、各サーバーごとに情報を記録してください。この情報は、索引サーバーをインストールする際に必要になります。すべてのサーバーに、同じエンタープライズ・サーチ・ユーザー ID およびパスワードを使用してください。

クローラー・サーバー

ホスト名:

ポート:

データ・ディレクトリー:

インストール・ディレクトリー

(このディレクトリーは、すべてのサーバーで同じでなければなりません):

リモート・ポート:

DB2 データベース名:

DB2 インスタンス名:

検索サーバー 1

ホスト名:

ポート:

データ・ディレクトリー:

インストール・ディレクトリー

(このディレクトリーは、すべてのサーバーで同じでなければなりません):

HTTP サーバー・ポート:

検索サーバー 2

ホスト名:

ポート:

データ・ディレクトリー:

インストール・ディレクトリー

(このディレクトリーは、すべてのサーバーで同じでなければなりません):

HTTP サーバー・ポート:

DB2 Information Integrator の資料

ここでは、DB2 Information Integrator の資料についての情報を提供します。

次のトピックの表は、正式な資料名、資料番号、および PDF 文書の場所を示しています。ハードコピー版の資料を注文するには、正式な資料名または資料番号が必要です。DB2 Information Integrator のリリース情報とインストール要件の資料名、ファイル名、および場所についても、以下のトピックの中に含まれています。

z/OS 上の DB2 Universal Database のイベント・パブリッシング機能に関する資料

z/OS 上の DB2 Universal Database のイベント・パブリッシング機能に関する資料

目的

z/OS 上の DB2 Universal Database のイベント・パブリッシング機能に関する資料。

表 1. z/OS 上の DB2 Universal Database のイベント・パブリッシング機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|--|-----------|--|
| <i>ASNCLP Program Reference for Replication and Event Publishing</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| レプリケーションとイベント・パブリッシング 入門 | GC88-9895 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| レプリケーションとイベント・パブリッシング ガイドおよびリファレンス | SC88-9893 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Tuning for Replication and Event Publishing Performance</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Release Notes for IBM DB2 Information Integrator Standard Edition, Advanced Edition, and Replication for z/OS</i> | なし | <ul style="list-style-type: none">• 「DB2 インフォメーション・センター」で、「製品概要」>「インフォメーション・インテグレーション」>「DB2 Information Integrator 概説」>「問題、予備手段、および資料の更新」• DB2 Information Integrator のインストール・ランチパッド• DB2 Information Integrator Support の Web サイト• DB2 Information Integrator 製品 CD |

z/OS 上の IMS および VSAM のイベント・パブリッシング機能に関する資料

z/OS 上の IMS および VSAM のイベント・パブリッシング機能に関する資料

目的

z/OS 上の IMS および VSAM のイベント・パブリッシング機能に関する資料。

表 2. z/OS 上の IMS および VSAM のイベント・パブリッシング機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|---|-----------|--|
| <i>Classic Federation</i> および <i>Classic Event Publishing</i> のクライアント・ガイド | SD88-7512 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Federation</i> および <i>Classic Event Publishing</i> の Data Mapper ガイド | SD88-7515 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Event Publishing</i> はじめに | GD88-7516 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Federation</i> および <i>Classic Event Publishing</i> のインストール・ガイド | GD88-7517 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Event Publishing</i> オペレーション・ガイド | SD88-7510 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Event Publishing</i> 計画ガイド | SD88-7511 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Federation</i> および <i>Classic Event Publishing</i> の管理ガイド | SD88-7509 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Classic Federation</i> および <i>Classic Event Publishing</i> のシステム・メッセージ | SD88-7514 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| IBM DB2 Information Integrator Classic Event Publisher for IMS リリース情報 | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| IBM DB2 Information Integrator Classic Event Publisher for VSAM リリース情報 | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |

Linux、UNIX、および Windows におけるイベント・パブリッシングおよびレプリケーション機能に関する資料

Linux、UNIX、および Windows におけるイベント・パブリッシングおよびレプリケーション機能に関する資料

目的

Linux、UNIX、および Windows におけるイベント・パブリッシングおよびレプリケーション機能に関する資料。

表3. Linux、UNIX、および Windows 上のイベント・パブリッシングおよびレプリケーション機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|--|-----------|---|
| <i>ASNCLP Program Reference for Replication and Event Publishing</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| インストール・ガイド (Linux、UNIX、Windows 版) | GC88-9562 | <ul style="list-style-type: none"> DB2 PDF Documentation CD DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| レプリケーションとイベント・パブリッシング 入門 | GC88-9895 | <ul style="list-style-type: none"> DB2 PDF Documentation CD DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Migrating to SQL Replication</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| レプリケーションとイベント・パブリッシング ガイドおよびリファレンス | SC88-9893 | <ul style="list-style-type: none"> DB2 PDF Documentation CD DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| SQL レプリケーション・ガイドおよびリファレンス | SC88-9163 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Tuning for Replication and Event Publishing Performance</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Tuning for SQL Replication Performance</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Release Notes for IBM DB2 Information Integrator Standard Edition, Advanced Edition, and Replication for z/OS</i> | なし | <ul style="list-style-type: none"> 「DB2 インフォメーション・センター」で、「製品概要」>「インフォメーション・インテグレーション」>「DB2 Information Integrator 概説」>「問題、予備手段、および資料の更新」 DB2 Information Integrator のインストール・ランチパッド DB2 Information Integrator Support の Web サイト DB2 Information Integrator 製品 CD |

Linux、UNIX、および Windows におけるフェデレーテッド機能に関する資料

Linux、UNIX、および Windows におけるフェデレーテッド機能に関する資料

目的

Linux、UNIX、および Windows におけるフェデレーテッド機能に関する資料。

表 4. Linux、UNIX、および Windows 上のフェデレーテッド機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|--|-----------|---|
| アプリケーション開発者向けガイド | SC88-9609 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| ラッパー開発における C++ API リファレンス | SC88-9921 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| データ・ソース構成ガイド | なし | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| フェデレーテッド・システム・ガイド | SC88-9614 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Guide to Configuring the Content Connector for VeniceBridge</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| インストール・ガイド (Linux、UNIX、Windows 版) | GC88-9562 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| ラッパー開発における Java API リファレンス | SC88-9922 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| マイグレーション・ガイド | SC88-9610 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| ラッパー開発者向けガイド | SC88-9923 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |

表 4. Linux、UNIX、および Windows 上のフェデレーテッド機能に関する DB2 Information Integrator の資料 (続き)

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|---|------|---|
| Release Notes for IBM DB2 Information Integrator Standard Edition, Advanced Edition, and Replication for z/OS | なし | <ul style="list-style-type: none"> 「DB2 インフォメーション・センター」で、「製品概要」>「インフォメーション・インテグレーション」>「DB2 Information Integrator 概説」>「問題、予備手段、および資料の更新」 DB2 Information Integrator のインストール・ランチパッド DB2 Information Integrator Support の Web サイト DB2 Information Integrator 製品 CD |

z/OS におけるフェデレーテッド機能に関する資料

z/OS におけるフェデレーテッド機能に関する資料

目的

z/OS におけるフェデレーテッド機能に関する資料。

表 5. z/OS 上のフェデレーテッド機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|---|-----------|--|
| Classic Federation および Classic Event Publishing のクライアント・ガイド | SD88-7512 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| Classic Federation および Classic Event Publishing の Data Mapper ガイド | SD88-7515 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| Classic Federation はじめに | GD88-7508 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| Classic Federation および Classic Event Publishing のインストール・ガイド | GD88-7517 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| Classic Federation および Classic Event Publishing の管理ガイド | SD88-7509 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| Classic Federation および Classic Event Publishing のシステム・メッセージ | SD88-7514 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| Classic Federation トランザクション・サービシス・ガイド | SD88-7513 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| IBM DB2 Information Integrator Classic Federation for z/OS リリース情報 | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |

z/OS におけるレプリケーション機能に関する資料

z/OS におけるレプリケーション機能に関する資料

目的

z/OS におけるレプリケーション機能に関する資料。

表 6. z/OS 上のレプリケーション機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|--|-----------|--|
| <i>ASNCLP Program Reference for Replication and Event Publishing</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| レプリケーションとイベント・パブリッシング 入門 | GC88-9895 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Migrating to SQL Replication</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| レプリケーションとイベント・パブリッシング ガイドおよびリファレンス | SC88-9893 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Replication Installation and Customization Guide for z/OS</i> | SC18-9127 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| SQL レプリケーション・ガイドおよびリファレンス | SC88-9163 | <ul style="list-style-type: none">• DB2 PDF Documentation CD• DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Tuning for Replication and Event Publishing Performance</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Tuning for SQL Replication Performance</i> | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| <i>Release Notes for IBM DB2 Information Integrator Standard Edition, Advanced Edition, and Replication for z/OS</i> | なし | <ul style="list-style-type: none">• 「DB2 インフォメーション・センター」で、「製品概要」>「インフォメーション・インテグレーション」>「DB2 Information Integrator 概説」>「問題、予備手段、および資料の更新」• DB2 Information Integrator のインストール・ランチパッド• DB2 Information Integrator Support の Web サイト• DB2 Information Integrator 製品 CD |

Linux、UNIX、および Windows におけるエンタープライズ・サーチ機能に関する資料

Linux、UNIX、および Windows におけるエンタープライズ・サーチ機能に関する資料

目的

Linux、UNIX、および Windows におけるエンタープライズ・サーチ機能に関する資料。

表 7. Linux、UNIX、および Windows 上のエンタープライズ・サーチ機能に関する DB2 Information Integrator の資料

| 資料名 | 資料番号 | 場所 |
|--|-----------|--|
| エンタープライズ・サーチの管理 | SD88-6374 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| エンタープライズ・サーチ インストール・ガイド | GD88-6373 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| エンタープライズ・サーチ プログラミング・ガイドおよび API リファレンス | SD88-6375 | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| エンタープライズ・サーチ リリース・ノート | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |

リリース情報およびインストール要件

リリース情報には、製品のリリースとフィックスパック・レベルに特有の情報が入っています。また、それぞれのリリースの資料に対する最新の訂正も含まれています。インストール要件には、製品のリリースに特有の情報が入っています。

表 8. DB2 Information Integrator のリリース情報とインストール要件

| 資料名 | ファイル名 | 場所 |
|--|--------------|--|
| <i>Installation Requirements for IBM DB2 Information Integrator Event Publishing Edition, Replication Edition, Standard Edition, Advanced Edition, Advanced Edition Unlimited, Developer Edition, and Replication for z/OS</i> | Prereqs | <ul style="list-style-type: none">DB2 Information Integrator 製品 CDDB2 Information Integrator のインストール・ランチパッド |
| <i>Release Notes for IBM DB2 Information Integrator Standard Edition, Advanced Edition, and Replication for z/OS</i> | ReleaseNotes | <ul style="list-style-type: none">「DB2 インフォメーション・センター」で、「製品概要」>「インフォメーション・インテグレーション」>「DB2 Information Integrator 概説」>「問題、予備手段、および資料の更新」DB2 Information Integrator のインストール・ランチパッドDB2 Information Integrator Support の Web サイトDB2 Information Integrator 製品 CD |
| <i>IBM DB2 Information Integrator Classic Event Publisher for IMS</i> リリース情報 | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |

表 8. DB2 Information Integrator のリリース情報とインストール要件 (続き)

| 資料名 | ファイル名 | 場所 |
|--|-------|--|
| IBM DB2 Information Integrator Classic Event Publisher for VSAM リリース情報 | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| IBM DB2 Information Integrator Classic Federation for z/OS リリース情報 | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |
| エンタープライズ・サーチ リリース・ノート | なし | DB2 Information Integrator Support の Web サイト |

リリース情報およびインストール要件の表示

リリース情報およびインストール要件の表示

目的

Windows オペレーティング・システム上で、CD に入っているインストール要件およびリリース情報を表示するには、次のように入力します。

```
x¥doc¥%L
```

パラメーター

x Windows CD ドライブ名

```
%L
```

使用したい資料のロケール。例えば、en_US

目的

UNIX オペレーティング・システム上で、CD に入っているインストール要件およびリリース情報を表示するには、次のように入力します。

```
/cdrom/doc/%L
```

パラメーター

```
cdrom
```

CD の UNIX マウント・ポイント

```
%L
```

使用したい資料のロケール。例えば、en_US

PDF 文書の表示および印刷

PDF 文書の表示および印刷

DB2 PDF Documentation CD から DB2 Information Integrator PDF ブックを表示および印刷するには、次のようにします。

1. DB2 PDF Documentation CD のルート・ディレクトリーから、index.htm ファイルをオープンします。

2. 使用したい言語をクリックします。
3. 表示したい文書のリンクをクリックします。

DB2 Information Integrator の資料へのアクセス

DB2 Information Integrator の資料へのアクセス

すべての DB2 Information Integrator ブックおよびリリース情報の PDF ファイルは、www.ibm.com/software/data/integration/db2ii/support.html にある DB2 Information Integrator Support の Web サイトから入手できます。

DB2 Information Integrator Support の Web サイトから、最新の DB2 Information Integrator 製品資料にアクセスするには、38 ページの図 1 に示すように、「Product Information」リンクをクリックします。

The screenshot shows the IBM DB2 Information Integrator Support website. The top navigation bar includes 'Home', 'Products & services', 'Support & downloads', and 'My account'. The breadcrumb trail is 'Software > DB2 Information Management > DB2 Information Integration >'. The main heading is 'DB2 Information Integrator'. Below this is a search bar with the text 'Search support for this product' and 'Enter search terms, phrase, error code or APAR number'. There are three checkboxes for filtering results: 'Solve a problem (FAQs, APARs, Technotes)', 'Download (Fixes, Patches)', and 'Learn (Manual Papers, etc.)'. A 'Submit' button is present. Below the search bar are links for 'Advanced search for this product' and 'Search all software support'. The left sidebar has a 'Support' section with a 'Learn' sub-section where 'Product information' is highlighted. The main content area has a 'Self help' section with 'Solve a problem', 'Download', and 'Learn' sub-sections. The 'Learn' sub-section has a 'Product information' link highlighted with a blue circle and a mouse cursor. There is also a 'Problem submission' section and an 'Other resources' section.

図1. DB2 Information Integrator Support の Web サイトの「Product Information」リンク

「Product Information」リンクから、サポートされるすべての言語の最新の DB2 Information Integrator の資料にアクセスできます。

- DB2 Information Integrator 製品資料 (PDF ファイル)
- リリース情報も含めた、フィックスパック製品資料
- Linux、UNIX、および Windows の DB2 Information Center のダウンロードとインストールの説明
- DB2 Information Center オンラインへのリンク

DB2 Information Integrator Support の Web サイトは、サポート資料、IBM Redbooks、白書、製品のダウンロード、ユーザー・グループへのリンク、および、DB2 Information Integrator についてのニュースも提供します。

アクセス支援

アクセス支援機能は、身体に障害のある（身体動作が制限されている、視力が弱いなど）ユーザーがソフトウェア製品を十分活用できるように支援します。DB2[®]バージョン 8 製品に備わっている主なアクセス支援機能は、以下のとおりです。

- すべての DB2 機能は、マウスの代わりにキーボードを使ってナビゲーションできます。詳細については、『キーボードによる入力およびナビゲーション』を参照してください。
- DB2 のユーザー・インターフェースのフォント・サイズおよび色をカスタマイズすることができます。詳細については、40 ページの『アクセスしやすい表示』を参照してください。
- DB2 製品は、Java™ Accessibility API を使用するアクセス支援アプリケーションをサポートします。詳細については、40 ページの『支援テクノロジーとの互換性』を参照してください。
- DB2 資料は、アクセスしやすい形式で提供されています。詳細については、40 ページの『アクセスしやすい資料』を参照してください。

キーボードによる入力およびナビゲーション

キーボード・フォーカス

キーボード・フォーカス

UNIX[®] オペレーティング・システムでは、アクティブ・ウィンドウの中で、キー・ストロークによって操作できる領域が強調表示されます。

キーボード入力

キーボード入力

キーボードだけを使用して DB2 ツールを操作できます。マウスを使って実行できる操作は、キーまたはキーの組み合わせによっても実行できます。標準オペレーティング・システム・キー・ストロークを使用して、標準オペレーティング・システム操作を実行できます。

キーまたはキーの組み合わせによって操作を実行する方法について、詳しくは、「キーボード・ショートカットおよびアクセラレーター: Common GUI help」を参照してください。

キーボード・ナビゲーション

キーボード・ナビゲーション

キーまたはキーの組み合わせを使用して、DB2 ツールのユーザー・インターフェースをナビゲートできます。

キーまたはキーの組み合わせによって DB2 ツールをナビゲートする方法の詳細については、「キーボード・ショートカットおよびアクセラレーター: Common GUI help」を参照してください。

アクセスしやすい表示

アクセスしやすい表示

目的

アクセスしやすい表示

フォントの設定

フォントの設定

「ツール設定」ノートブックを使用して、メニューおよびダイアログ・ウィンドウに使用されるテキストの色、サイズ、およびフォントを選択できます。

フォント設定に関する詳細情報は、「メニューおよびテキストのフォントを変更する: Common GUI help」を参照してください。

色に依存しない

色に依存しない

本製品のすべての機能を使用するために、ユーザーは必ずしも色を識別する必要はありません。

支援テクノロジーとの互換性

支援テクノロジーとの互換性

DB2 ツールのインターフェースは、Java Accessibility API をサポートします。これによって、スクリーン・リーダーその他の支援テクノロジーを DB2 製品で利用できるようになります。

アクセスしやすい資料

アクセスしやすい資料

DB2 の資料は、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で提供されています。XHTML により、ご使用のブラウザに設定されている表示設定に従って資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーや他の支援テクノロジーを使用することもできます。

シンタックス・ダイアグラムはドット 10 進形式で提供されます。この形式は、スクリーン・リーダーを使用してオンライン資料にアクセスする場合にのみ使用できます。

IBM と連絡を取る

IBM へのお問い合わせ先は、Web サイト www.ibm.com/planetwide にある「IBM Directory of Worldwide Contacts」をご覧ください。

製品情報

DB2 Information Integrator 製品に関する情報は、Web により入手できます。

Web サイト www-6.ibm.com/jp/software/data/ をご覧ください。

このサイトには、次の最新情報が入っています。

- 技術ライブラリー
- 資料の注文方法
- 製品のダウンロード
- ニュースグループ
- フィックスパック
- ニュース
- Web リソースへのリンク

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、米国以外の国においては本書で述べる製品、サービス、またはプログラムを提供しない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、製造元によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品、プログラムまたはサービスを使用した場合の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）の間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠し

たアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生した創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

Outside In[®] Viewer Technology, ©1992-2004 Stellent, Chicago, IL., Inc. All Rights Reserved.

IBM XSLT Processor Licensed Materials - Property of IBM ©Copyright IBM Corp., 1999-2004. All Rights Reserved.

商標

ここでは、IBM の商標と、特定の IBM 以外の商標をリストします。

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM
AIX
AIX 5L
DB2
DB2 Universal Database
Domino
Domino.doc
Hummingbird
Informix
Lotus
Lotus Notes
Notes
OmniFind
POWER4
POWER5
RISC System/6000
Tivoli
WebSphere
Workplace
xSeries
z/OS

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel Inside (ロゴ)、MMX および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アンインストール 23, 25
UNIX ベースのオペレーティング・システム上の DB2 II OmniFind Edition 23
Windows 上の DB2 II OmniFind Edition 25
インストール・ディレクトリー 8
インフォメーション・センター 19
エンタープライズ・サーチ管理者パスワード 8
エンタープライズ・サーチ管理者ユーザー ID 8
エンタープライズ・サーチのインストール・ディレクトリー 8
エンタープライズ・サーチのデータ・ディレクトリー 8

[カ行]

管理者パスワード, エンタープライズ・サーチ用 8
管理者ユーザー ID, エンタープライズ・サーチ用 8
検索, エンタープライズ・サーチの資料 21

[サ行]

サポートされるオペレーティング・システム 1
資料 21
前提ソフトウェア 1
ソフトウェア要件 1

[タ行]

データ・ディレクトリー 8
ディスク・スペース所要量 5

[ハ行]

ハードウェア要件 5
ファースト・ステップ 13
開始 13

D

DB2 インフォメーション・センター
開始 19
DB2 インフォメーション・センターを開始する 19
DB2 インフォメーション・センター・サービス
開始 19
DB2 インフォメーション・センター・デーモン
開始 19

L

Linux および AIX 上の Deployment Manager
開始 15
Linux および AIX 上の HTTP サーバー
開始 15
Linux および AIX 上の WebSphere Application Server
開始 15
Linux および AIX 上の WebSphere Application Server Network Deployment
開始 15
Linux および AIX 上のアプリケーション・サーバー
開始 15
Linux および AIX 上のエンタープライズ・サーチ
開始 15

P

PDF の資料 21

U

UNIX ベースのオペレーティング・システム上の DB2 II OmniFind Edition
アンインストール 23

W

Windows 上の DB2 II OmniFind Edition
アンインストール 25
Windows 上の Deployment Manager
開始 17
Windows 上の HTTP サーバー
開始 17
Windows 上の WebSphere Application Server
開始 17
Windows 上の WebSphere Application Server Network Deployment
開始 17
Windows 上のアプリケーション・サーバー
開始 17
Windows 上のエンタープライズ・サーチ・システム
開始 17

IBM

Printed in Japan



GD88-6373-01



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12